

議事要旨	会議名：北九州 ESD 協議会・令和 3 年度第 6 回運営委員会		
日 時	令和 4 年 3 月 16 日（水）18:00～19:20	会 場	オンライン、まなびと ESD ステーション
配布物	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度 収支決算見込み（案） ・運営委員会の在り方についての検討の経緯 ・「(仮称) 活動委員会」「(仮称) 企画委員会」及び「合同会議」について（案） ・「コロナ禍で顕在化した女性労働その問題点と解決方法」講演チラシ ・「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」受賞団体の決定について ・「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」活動概要及び選考委員による評価 ・令和 4 年度チーム活動推進事業の募集について ・チーム活動推進事業募集要項、申請書、事業収支予算計画書 		
出席者	所属	氏名（敬称略）	
	北九州 ESD 協議会運営委員会	日高京子・渡辺いづみ・川島伸治・上永陽一・後藤加奈子 三宅博之・原賀いづみ・佐藤信幸・坂元光男・岩谷かおり 北九州市：稲田佳代子・安田絵里 事務局：高橋誠一・山中美鈴	
陽 宗	【議題】 1 新規会員入会について 2 令和 3 年度 収支決算見込み（案）について 3 「運営委員会の在り方」について 【報告】 1 各プロジェクト報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングプロジェクト ・調査研究・国際プロジェクト ・人材育成・発掘プロジェクト 2 事務局報告 <ul style="list-style-type: none"> ・「2021 北九州 SDGs アワード」の決定 ・チーム活動推進事業の募集について ・活動報告会について 2月26日（土）実施 17 団体参加 ・ユースによる出前講座「身近な ESD・SDGs を学ぼう！」 熊西市民センター・・・2月19日 ・「北九州 ESD 協議会事務局長」決定について 		
	議 題 1	新規会員入会について 委員長：新規会員入会について事務局に説明いただく。 事務局：資料を画面共有する。1 団体会員，2 人の個人会員から申し込みがあった。	

<p>議 題 2</p>	<p>委員長：意見や質問はないか。承認でよろしいか。 委員：異議なし。</p> <p>委員長：令和3年度 収支決算見込み（案）について事務局から説明いただく。 事務局：配布資料に基づき説明。 委員：アクションプランであるが、5年間使うのであれば、もう少しきれいな製本は出来ないのか。もっと立派なものを作る計画はないのか。 事務局：経費削減の観点から、事務局でコピーし製本した。ホームページにも掲載している。したがって、新しく作る予定はない。 委員：旅費の内訳は、誰がどこに行った旅費か。 事務局：主に事務局職員の毎月の近距離旅費である。出前講座等で市民センターへの実費の交通費である。 委員：誰の命令で、出張し、支出しているのか。 事務局：協議会の事務局経理規程により、会計責任者である事務局長が命令し支出している。 委員：裏付けとなる資料はあるのか。 事務局：領収書等は全て保管している。また、毎年、監事による監査でもすべての書類を提出し承認を得ている。 委員：予算がマイナスになって口頭で説明した部分は、簡単なメモがあった方が解り易い。 事務局：決算見込みという事で、省略していたが、今後は作成する。</p>
<p>議 題 3</p>	<p>委員長：第5回運営委員会で、運営委員会の機能を「活動委員会」「企画委員会」の2つにするという枠組みが決まった。今日は、その2つの委員会の中身について協議する。 事務局から配付資料について説明いただく。 事務局：配付資料『運営委員会の在り方についての検討の経緯』『（仮称）活動委員会」「（仮称）企画委員会」及び「合同会議」について（案）』に基づき説明。 委員：協議会の目的は、協議会の会則にも記載されているように、①ESD推進構想や事業実施計画の策定となっている。今まで実施してきたことを否定するのではないが、新しく企画していくことが大事である。それを企画委員会で議論する。また、②ESDに取り組む各組織間の連携や交流、連絡調整となっている。今までは、連携がうまくいっていないところもあった。どうすれば連携がなされるのか。活動委員会で議論し、考えていく。現在の運営委員会を2つの委員会に分けて、内容について議論し、合同会議を開催し相互交流を図っていく。 委員：北九州 ESD 協議会の会則は国内実施計画に基づいて作られている。GAP や ESD 国内実施計画において5つの優先分野におけるアンケートの提出が国連から求められている。アンケートを行う時に、国内実施計画を指標にすれば、協議会の目標、目的等がずれないので報告をしやすい。 委員：プロジェクト活動や会員の団体は、北九州では ESD 活動に積極的に取り組んで行っ</p>

ている。しかし、一方、ESD-Jや国連大学、他のRCEとのつながりはあまりなかった。事務局では連携が取れていたが、会員までには降りていなかった。ESD-Jや国連大学が企画している国内レベルの講演会やイベントに、会員が興味を持たなかった。その点は反省すべきところ。今後、ESD-J、国連大学等との連携をどのようにして行うかを活動委員会で議論することは良いことだと思う。

また、ユースは北九大が中心。10大学連携事業の時には他の大学も積極的に参加していた。他の大学にも地域連携を掲げており、ESD協議会として、他の大学にも参画してもらうようなネットワークづくりをする努力が必要。そのためにも、企画委員会で議論をすればよい。

委員：市内の大学では、サークルやゼミ等でESD、SDGs活動を積極的に行っている。大学が参加したい活動を協議会で考え、先生方に声を掛けたらよい。また、チーム活動推進事業にも大学に参画してもらい、大学毎の独自性を出して、個性ある活動をして欲しい。

委員：そのようなことを企画するのが、まさに企画委員会である。

委員：会員はボランティアで自主的に行動を起こす。「この事業をしてください」と言っても、興味がなければ行動を起こさない。総会に出席して初めて協議会の動き（運営委員会を「活動委員会」「企画委員会」に分ける）を知ることになる。総会の前に、会員に説明する場を設けるべき。

委員：やってみないとわからない。「活動委員会」「企画委員会」という形で、走りながらやってみてはいかがか。

委員長：大枠は、「活動委員会」「企画委員会」の2つの委員会に分ける。そして、「合同会議」が2つの委員会をつないでいく役目をする。とりあえずやってみるという意見であった。

委員：アクションプランを進めるために、「活動委員会」「企画委員会」という体制でやってみよう。

委員長：方向性は賛同を得たということで良いか。

委員：異議なし。

【報告】

1 各プロジェクト報告

・ブランディングプロジェクト

委員：未来パレット31号の今月末に発行予定。

・人材育成発掘プロジェクト

委員：3月28日に今年度最後のプロジェクト会議をする予定。

・調査研究国際プロジェクト

委員：2月10日（木）にJICA職員によるワークショップ実施

3月19日（土）に「コロナ禍で顕在化した女性労働 その問題点と解決方法」

講師：福岡女子大学国際文理学部教授 野依 智子 氏

	<p>2 事務局からの報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2021 北九州 SDGs アワード」の決定 「資料」に基づき説明 SDGs 大賞の受賞団体（2 団体）は市長表彰の予定 ・令和 4 年度チーム活動推進事業の募集について 募集期間 3 月 22 日～4 月 22 日 周知方法：会員へメール及び協議会ホームページに掲載（近日中） ・活動報告会 17 団体が参加。ハイブリッド形式で実施。 ・ユースによる出前講座「身近な ESD・SDGs を学ぼう！」 熊西市民センター・・・・・・・・2 月 19 日 ・協議会新事務局長の決定 3 月 5 日に面接試験実施 新事務局長：山田大輔（やまだ だいすけ）
令和 4 年度 第 1 回運営委員会	令 4 年 5 月 25 日（水）18:00～19:30
開催予定日	オンライン or 北九州まなびと ESD ステーション